



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしこく たくましく」

令和5年2月1日

2月号

NO. 594

校長 大久保仁晶



夢中に学ぶ子を目指して

大寒を過ぎ、寒さの厳しい日々が続いています。茅ヶ崎でも最低気温が0度以下となる日があり、くじら池も凍りました。一方、梅田小のシンボルとも言える梅の花が咲き出し、桜やあじさいなど他の木々の芽も春に向けての準備をしています。新型コロナウイルスは国内のように少し落ち着きを見せていますが、市内ではインフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖も見られます。栄養、休養を十分にとって、学年のまとめの残り2ヶ月を乗り越えていきましょう。



西門近くの梅の花

さて、我々教職員にとって授業をどのように組み立てるのかを考えることは大切な仕事です。そのため、校内研究として授業研究を行っています。梅田小学校では、「夢中に学ぶ子を目指して～つなぐ・つなげる・つながる～」を校内研究のテーマとして掲げています。目指す学校像（笑顔いっぱい梅田小）や、目指す子ども像（やさしく、かしこく、たくましく）を実現するためには、主体的対話的で深い学びが必要で、それを実現するためには、授業が楽しく夢中になれること、友達同士や学習した内容がつながることが重要と考えています。学年を基本として日常的に教材研究を行って、学年研究日をそれぞれ設け、授業を公開しています。

授業力を向上するには、いろいろな授業の実際を参観すること、そして自らの授業を公開することが何より大切と考えています。授業を公開する際には「指導案」という授業の流れを書いた資料を作成する場合があります。どのような教材を、どのようなタイミングで、どのような発問・指示で、どのようなツールを使って、どこで子どもたちに考えさせるかなどの内容を書いたものです。もちろんそのような展開になれば理想的ですが、授業は生き物でもあるので、なかなか思ったように進まないことの方が多いです。授業後には、授業者に対して、参観の教職員が感想や代替え案などの意見交流を行って、その授業を深めています。

さらに、外部講師として、國學院大學教授の田村学先生を年に数回招いて指導を受けています。1月30日も田村先生に授業を公開し、授業の隊形や授業の展開について指導講評をいただきました。全国の授業を見ている方の指導なので、「目からうろこ」と学ぶばかりです。

また、梅田小学校だけではなく、茅ヶ崎・寒川地区の教職員が集まって研究会をもつ日もあります。行事予定に「研究会のため4時間」などとあるのは、教職員の研究と修養の時間であることをご理解いただければと考えています。これからも、「夢中に学ぶ子」を目指して研修を深めてまいります。



研究授業の様子